

# 春の火災予防運動

3月1日から  
3月7日まで

消しましょう  
平成28年度  
全国統一防火標語  
その火その時  
その場所で



三月一日から一週間、全国一斉に春の火災予防運動が行われます。この運動は、火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図るなどを目的に、毎年実施されるものです。

今年度の全国統一防火標語は『消しましょう その火その時 その場所で』です。火災予防運動期間中には、全国各地で防火に関する様々な行事が行われます。

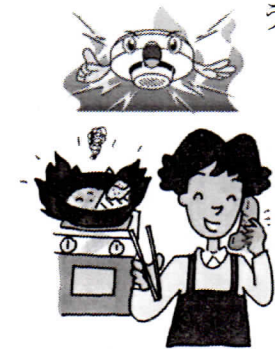
岐阜市消防本部では、岐

# 女性防火クラブだより

発行所：岐阜市女性防火クラブ 運営協議会事務局  
〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目9番地  
☎058-262-7163  
平成29年3月1日号  
(通算第36号)

消しましょう  
その火その時  
その場所で

岐阜市消防本部では、岐



岐阜市危険物安全協会、岐阜市防火協会の協力を得て、火災予防啓発ポスターを作成し、市内の関係機関、主要事業所などに配布して火災予防を呼び掛けます。

平成二十三年六月一日からすべての住宅に義務化となつている住宅用火災警報器の岐阜市消防本部管内における設置率は、昨年六月時点で約八十%となつています。未設置のお宅はすみやかに設置しましょう。

そして、この機会に是非、あなたの大切な家族・財産を守るため、ご家庭でも火災予防について考えてみましょう。

## 平成二十八年 岐阜市火災概要



平成二十八年に岐阜市内で発生した火災の総件数は百十件で、前年の百十二件と比べると二件減少しました。

出火原因は「放火・放火の疑い」が二十件で最も多く、「たばこ」が十八件、「こんろ」が十二件、「たき火」が十一件、及び「ストーブ」が八件の順となりました。火災による死者は、前年より二人減少し、六人でした。

住宅火災による死者（放火自殺者を除く）は四人で、その内三人が六十五歳以上の高齢者でした。

火災による負傷者は、十七人で前年と比べて一人増加しました。建物火災の件数は六十五件で前年より四件減少しました。うち住宅火災は三十九件であり、建物火災の六割を占めています。

火災による損害額は、約二億五千七十九万円で、一日あたり約六十九万円の財産が焼失したことになります。

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。大切な家族や財産を守るためにも、火災を無くして安心・安全な街をつくりましょう。

### 住宅防火 いのちを守る

#### 7つのポイント

・三つの習慣・四つの対策

#### 三つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

#### 四つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

各地区の女性防火クラブから

「一年間の活動について」

京町女性防火クラブ

会長 高橋 浪子

京町女性防火クラブは自治会連合会に所属しており、クラブ員としては百三十名ほど在籍しています。なお七地区あり、地区より二名ずつ選出し、計十四名で活動しています。

五月には女性防火クラブの総会及び研修会を同時に開催しました。消防署の方をお願いして災害についての講演をしていただきました。出席者は二百三十名ほどでした。自治会の方にも協力していただき、大盛況の研修会となりました。

七月には救急講習会を各種団体と共同で開催しました。救急隊の方にお願ひし、応急手当の方法やAEDの使用法等、多くの事を指導していただきました。

一〇月には自治会主催の防災訓練に参加をしました。クラブ員がそれぞれ分かれてお手伝いや訓練をしました。婦人会とは炊き出し訓練を行い、ひじきご飯やきのことご飯を作り、参加者全員に配

布しました。消防署の方には初期

消火訓練やAEDの使用方法を

指導していただき、多くの参加者が体験をしていました。質問も多く出ており、こういった訓練は本

当に大事なんだと実感しました。

十二月の年末特別夜警の際は、豚汁やおにぎりを作り激励しております。

最後になりますが、今、東海・東南海・南海地震が発生すると言

われております。女性防火クラブ員として、地域の皆さんと協力し、

防火防災に少しでもお役に立たなくてはと思っております。

「一年間の活動を通して」

厚見女性防火クラブ

会長 安達 眞澄

厚見地域は岐阜市南部に位置し、境川を挟んでお隣は岐南町、笠松町、そして新荒田川を挟んで加納東、茜部と接する南北に長い地域で、住宅が密集する中を名鉄名古屋本線が通っています。

私達厚見女性防火クラブは、「まず自分達の家庭から火事を出さない」を合言葉に活動を行っています。

毎年総会の際には、「空き缶コンロ作り」を実施し、併せて炊飯実習を行います。ほんのわずかの食用油を使用し、洗米していない普通のお米でおいしいご飯が炊けて食べられる事を知り、参加者には感激されます。実際に家で実践された方もおりました。今後は、子供会でも取り組んでいただけるよう働きかけ、若いお母さんに災害が発生した際に活用できることを知ってもらいたいと思っています。

厚見地域では、十一月の第二日曜日に自主防災訓練が実施されます。避難所集合が完了後、六ブ

ースに分けられた各コーナーを体験・見学して回ります。その中で私達女性防火クラブは、煙体験終了後に、防火啓発として住宅用火災警報器の設置状況を尋ねたり、電池が寿命のものは新しい機器と交換することを皆さんに伝える役割をしました。設置義務化が始まって十年も経過していますが、未だ設置されていない家庭があることが分かり、早速設置をお願いしました。

十二月には、応急手当の方法と、AEDの取り扱い訓練を実施しました。

今後も地域の皆さんと協力して、女性防火クラブの活動に取り組んでまいります。



出初式（分列行進）の様子

**寝室・階段**（寝室が二階以上の場合）に住宅用火災警報器を必ず設置してね！

十年経ったら電池・機器交換の時期です。維持管理も忘れずに！



岐阜市消防本部  
オリジナルキャラクター  
住警器くん